

平成30年度
協働まちづくり推進助成事業の実施状況について

1 協働まちづくり推進助成事業について

多様な主体の協働によるまちづくりを推進するため、複数の団体が連携して社会的課題の解決やまちの魅力の創造を図る取り組みについて、審査の上、事業費の助成と併せて、コンサルティングや必要な専門家の派遣などのサポートを行う。

2 応募状況

- (1) 募集期間 平成30年2月13日から3月5日まで（平成30年1月30日発表）
- (2) 募集事業 複数の団体が連携して社会的課題の解決やまちの魅力の創造に取り組み、団体単独ではなし得なかった新たな機能や価値の創出を図る事業
- (3) 応募件数 6件 ※各事業、2団体以上が連名で応募
＜応募団体の内訳＞
 - 町内会等地域団体：6団体
 - 任意団体：3団体
 - NPO法人：2団体
 - 大学：2団体
 - その他法人：1団体

3 採択事業の概要

学識経験者等により構成される審査会議での評価を踏まえ、裏面のとおり4事業を採択した。

4 今後の予定

- 平成29年度事業 実施報告会
実施した事業の内容及び成果を広く市民と共有する。
平成30年8月6日(月)18:00～20:00 仙台市市民活動サポートセンター

※ そのほか、平成30年度事業の助成対象団体が情報交換できる場の設定について、今後検討する。

「仙台市協働まちづくり推進助成事業」 平成30年度事業一覧

＜事業名＞	【新規】空き地の活用、ハーブ栽培を核に 地域包括ケアシステムのスムーズな構築を目指して
＜団体名＞	八木山連合町内会、八木山地区社会福祉協議会
＜事業概要＞	空き地等を活用したハーブ等の栽培・販売を通し、住民、高齢者、支援団体の顔と顔が見える関係を築き、地域包括ケアシステムの構築に繋げる。
＜支援＞	他地域の地域包括ケアに関する助言、ハーブ栽培・商品開発に関する助言、団体の自立発展に関する助言。

●助成金額 1,000千円 / 総事業費 1,152千円

＜事業名＞	【継続】貞山運河の利活用による新浜の復興まちづくり
＜団体名＞	貞山運河研究所、新浜町内会
＜事業概要＞	貞山運河と新浜をはじめとした沿岸部の現況を把握し、貞山運河を沿岸部の復興まちづくりに活かすための魅力を掘り起こす。
＜前年度実績＞	渡し船や和船を活用した魅力掘り起しイベントを実施（計7回、延べ350人）、貞山運河マップ作成・販売、フォーラムの開催（来場者500名）。
＜支援＞	事業目的と手段の整理、広報に関する助言、船の運行に関する助言、組織基盤強化に関する助言、貞山運河のブランド化に関する助言。

●助成金額 1,232千円 / 総事業費 1,419千円

＜事業名＞	【継続】仙台スポーツボランティアプロジェクト ～仙台を日本で一番スポーツボランティアが盛んなまちに～
＜団体名＞	特定非営利活動法人ボランティアインフォ、 市民スポーツボランティアSV2004、仙台大学
＜事業概要＞	スポーツボランティア(SV)がより活動しやすい環境づくりやノウハウの体系化を通して、スポーツボランティアを量・質両面から盛り上げる。
＜前年度実績＞	webサイト開設と情報発信、初級研修2回・リーダー研修1回の実施(計170名受講)、修了者向けノベルティの開発と配付、スポーツコミッションせんだい、仙台プロスポーツネットとの次年度に繋がる関係性の構築。
＜支援＞	事業化に向け事業目的と手段の整理、インターンシップに関する支援、イベント集客に関する助言、資金調達に関する助言。

●助成金額 2,999千円 / 総事業費 3,363千円

＜事業名＞	【継続】文教地区桜ヶ丘における 大学と地域の特色を生かした世代間交流
＜団体名＞	宮城学院女子大学、桜ヶ丘学区連合町内会
＜事業概要＞	大学と地域が密接な関係にある文教地区の特性を生かし、高齢者と子どもたちと学生が交流する場を創出する。
＜前年度実績＞	4月から食育や回想法等を用いた地域と学生・子どもの世代間交流イベントの実施。
＜支援＞	実施プロセスの他地域への展開に関する助言、空き家調査に関する助言。

●助成金額 945千円 / 総事業費 1,050千円